

2009（平成 21）年度後期 DUO リーグ会議議事録

【日 時】 2009（平成 21）年 12 月 23 日（水） 17：00～19：00

【場 所】 筑波大学附属高校会議室

【出 席】 クラブ名（代表者名）

都小石川（長山）、昭和一（永井）、三菱養和（植村）、京華（小金丸）、都向丘（大河内）、筑波大附（中塚）、学習院（玉生）、豊南（阿部）、本郷（都丸）、城西（嶋野）、豊島学院（北爪）、郁文館（井上）、駒込学園（宮坂）、巣鴨（山中）、立教池袋（橋本）、獨協（神宮司）、都豊島（江口）、淑徳巣鴨（石原）、都竹早（蓑田）、日大豊山（亀井）、都文京（梶山）、都足立（安藤）、都江北（玉山）、足立学園（伊藤）、都荒川商（蓑輪）、文京区中学生選抜（丸山）、FC 西巣鴨 03（岸）

【オブザーバー：選手】 クラブ名（参加者名）

駒込（須貝、藤ノ木）、筑波大附（庄田、大関、三井）、豊南（王）

【オブザーバー：一般】 名前（所属）

佐藤・小沢（靴創家）、藤原（リゾスポ）、武藤（文京区中学生選抜）、遠藤（足立学園）、岸（事務局）

0. 報告事項

1. 靴磨き講座、コインケースづくり報告

佐藤：トロフィーづくりをきっかけに、その後、スキンプロジェクトを進めている。トロフィーについては、2008 年度の「トロフィーがない！プロジェクト」で靴型のトロフィーができ、1 部リーグ優勝チームで持ち回っているが、今後もさまざまな企画を考えていきたい。本日は、靴磨き講座と、夏に行ったワークショップ（「水都大阪 2009」<http://www.suito-osaka2009.jp/>）の続きとして、いらなくなったボールの革を使ってのコインケースづくりを行った。靴磨き講座では、ものを大切にする気持ちをみんなに覚えてもらいたいと思っている。

小沢：普段は、靴づくりと靴修理を行っています。スキンプロジェクトの理念に共感し、お手伝いさせていただきます。

中塚：午前中の靴磨き講座には 16 名の参加者があり、密度濃い講座になりました。

2. 三菱養和、高円宮杯 3 位報告

植村：今年から三菱養和でコーチとして働いています植村です。今年のチームはとてもチームワークの良いチームで、お陰様で、高円宮では 3 位になることができました。今後ともよろしく願いいたします。

I. 2009 年度後期 DUO リーグについて

1. 経過および結果報告

0) 地区トップリーグ（玉生運営委員長）

玉生：結果は配布資料の通り。東久留米総合が、地区トップリーグから T リーグに上がることが決定。

地区トップリーグから T リーグへの昇格条件は、地区トップリーグで上位 3 位以内に入った A チーム。東久留米総合が選手権で勝ち進んでいたため、順位決定戦がまだ出来ていない。地区トップリーグの下位 4 チームは、それぞれの地区リーグに降格する。

2011 年度からは、地区トップリーグと T リーグの間で 3 チームずつの入れ替え、完全につながるようになった（高体連の飛び級制度廃止）。しかし、昇格できるのが A チームに限られるという、現行の T リーグの条件では、昇格チームが生まれない可能性がある。B チームも T リーグに上が

れる環境を整備できればいい。

現在、地区リーグとの関わりについても議論している。個人的には、地区トップリーグと地区リーグの間にもう一段階ほしい。現状では、1・2地区だけにEリーグという中間的なリーグがあるが、ここにしかないため不公平感がある。他地区にもEリーグと同じようなリーグを作ってもらいたいところだが、現時点でそれだけの運営能力があるかという点と厳しい。どうすればよいか、意見をいただきながら模索していきたい。Eリーグの運営をどうするかという議論も出ているが、全体で見ていく必要がある。再来年から、各地区統一した形にできれば。何か意見があれば。

遠藤：玉生先生の話には納得できる。2地区に力がないからいけないのだが、結果的に2地区だけ不利益を被っている感は否めない。しかし、このような意見を言う場がない。DUOリーグの意見として2地区で意見を吸い上げて欲しい。3・4地区ではやりにくいというのなら、1～4地区で東東京をまとめたリーグを行うというアイデアもある。DUOリーグと地区トップリーグの間に1つリーグがあるのは、リーグのレベルから考えてもいい。

中塚：この一連の議論は、DUOリーグの中でも意見を出してもらい、具体的な提案の形にもっていきましょう。リミットは2011年度。しかし2011年度に新しい方法を取り入れるなら、2010年度のシーズンが始まるまでに結論を出したい。理事会中心に意見をまとめていく。

1) Eリーグ (都足立&都江北)

安藤：リバーサイドリーグからEリーグに参加している学校と全然連絡が取れていなかった。試合結果がFAXで届くシステムになっていることを浅野先生に伝えていなかったため、試合結果のFAXを廃棄するようなミスがあった。いま、再度結果を確認しているところ。

今期のリーグは年内に終了。都足立のDUO降格、都江北の地区トップリーグ昇格が決定した。

中塚：周りもフォローしながら仕事に責任を持ってやっていてもらいたい。運営がずさんだと、「Eリーグ廃止」にもつながりかねない。

2) 1部リーグ (1部リーグ責任者：江口)

江口：都豊島対京華の試合だけが残っている。連戦になった試合はあったが、インフルエンザによる延期などを考慮すれば仕方ないのかなと感じる。

3) 2部リーグ (D責任者：山中/U責任者：宮坂/O責任者：玉山)

- ・Dリーグ：残りは12/27日に1試合(豊南対小石川)。小石川の優勝確定。
- ・Uリーグ：残りは12/25日に1試合(都竹早対豊島学院B)。駒込の優勝確定。
- ・Oリーグ：残りは12/27日に1試合(日大豊山対都向丘)。足立学園の優勝確定。

2. 各賞選出方法と表彰内容の確認

1) MVP他 (中塚)

MVPは、1部リーグは優勝チームから選出される。2部リーグは優勝チームからでなくてもいいが、近年は優勝チームから出している。次回のDUO会議前にDUOアウォーズを行うので、その時まで各賞を選出する。関係クラブからの推薦をMLで流して承認する形をとりたい。

2) 優秀審判賞 (梶山)

優秀審判賞については、年明けまでにメーリングリストで審判評価をまとめたものを流すので、それをもとに各チームで推薦者がいる場合は連絡してもらいたい。

3) 特別賞 (丸山)

文京区中学生選抜の平田揆一君を推薦。中学生ながら7得点を記録。サッカーで山梨学院に入学が決定。⇒満場一致で平田揆一君の特別賞受賞決定。

3. 昇降格の手順の確認（玉生事業部長）

1) Eリーグ&地区トップリーグ

- ・地区トップリーグからEリーグに、都江戸川と都葛飾野が降格。
- ・Eリーグから地区トップリーグに昇格するのは、Eリーグの上位2チーム。うち一つは都江北

2) Eリーグ&DUO1部

都足立がEリーグからDUO1部に降格することが決定した。

DUOリーグからEリーグへの昇格は、1部優勝チームに加えて、2位同士の参入戦勝者が昇格できる。参入戦の期日についてはリバーサイドリーグと今後調整。

3) DUOリーグ1部&DUOリーグ2部

- ・2部リーグから1部リーグへの昇格は、2部D・U・Oリーグ1位の3チームによる順位決定戦を行い、上位2チームが昇格。ただし、Eリーグへの昇格が2チームあった場合、2部リーグから3チームが1部リーグに昇格できる。
- ・1部リーグから2部リーグへの降格は、1部リーグ下位2チームが自動降格。

II. 2009年度を振り返って：各部門より

1. 事業部門（玉生事業部長）

1) 競技部（各リーグ責任者）

玉生：インフルエンザで学校運営も大変な中、皆さんのごんばりによりリーグ運営できた。

2) 審判部（◎城西・文京・巣鴨）

嶋野：先日、国立競技場で行われた説明会に出席し、2010年度4級取得講習会の準備を進めている。講習会実施の90日前に協会に講習会日程を連絡しなければいけない。今のところ、2月28日に城西が押さえられているが、3月7日、14日で使える学校があれば年内に教えて欲しい。

中塚：3月14日は、筑波大附属高校が利用可能。DUOアウォーズとDUO会議も同じ日に行えると良いが、2010年度前期リーグの準備を考えると、DUO会議はもう少し早く行う必要がある。

⇒審判講習会：3月14日 筑波大附属高校にて

DUO会議&DUOリーグ・アウォーズ：2月21日 筑波大附属高校にて

3) 技術部（◎郁文館・豊島・小石川）

長山：DUOリーグ選抜交流会を月1回のペースで企画した。9月の回は50名以上が参加。しかし、10月は試験期間と重なったこともあって人数不足により中止、11月は雨天中止となった。本日は83名が参加し、ハーフコートでのゲームとコインケースづくりを実施した。

今後の課題として、まずは日程調整（試験期間を避けるなど）。また、参加人数の把握がぎりぎりになっていたのを改善していきたい。クラブの枠を越えて交流する場として、複数クラブから少人数ずつ参加できるといい。

<本日の交流会に参加した高校生より一言>

- ・いろいろな事が知れ、サッカーもできて楽しい1日だった。
- ・自己紹介ではぎこちなかったが、試合を通して同じチームの人と話せるようになった。
- ・もう少し多くのクラブから参加者がいれば良かった。全面でのゲームをやりたかった。
- ・地区選抜に来ていない人とも交流できたのが良かった。コインケースづくりでは、使い終わったものでも使い道があることが分かった。

中塚：できるかどうか分からないが、リーグ単位で交流会ができればいい。同じリーグで戦っている

者同士であれば、ゲームを題材にした話もできる。選抜されたメンバーだけでなく、普通の高校生が交流できる場ができればいい。リーグ単位の方が運営しやすい気がする。

もう一つ、審判の育成について。生徒が主審を行っている時に、試合中どのように動いたか、その軌跡を図に表した。ずっとはできないので、例えば 15 分～20 分の 5 分間記録する。それをハーフタイムに本人に見せて、もっと副審と挟んで判定することや、プレーを近くで見ることをアドバイスしたところ、後半は運動量が増えて良くなった（配布資料参照）。簡単にできることなので、各クラブでも参考にしてください。

2. 管理部門（神宮司管理部長）

1) 経理部（◎豊南・向丘・足立学園）

伊藤：まだ振り込んでいないクラブは早急に振込みをお願いしたい。加盟費・参加費・個人登録費は分けて振込み、手数料は各クラブ持ち。豊島学院が後期の登録選手として、30 名追加録しているが、追加にしては多すぎるので何かの誤りではないかと思っている（誤りではなかった）。都豊島は 1 チーム登録だったので、2 万円多く振り込まれている（資料参照）。

神宮司：各リーグの会計担当者は、リーグ終了まで報告をお願いしたい。各リーグの会計資料が 2 種類配られているが、経理部で作成したものに誤りがあればご指摘ください。

中塚：各リーグの会計担当と経理部で同じ作業をしていたようだ。また、2 部 D リーグには、そもそも開始時から会計担当が決まっていなかった。今後は、各リーグの会計担当と経理部で連携しながら仕事を進めてもらいたい。

2) 広報部（◎淑徳巣鴨・日大豊山）

石原：地域活動推進部とも連携してプログラムを作成していきたい。

玉山：都江北に後期プログラムが届いていません。

箕輪：荒川商業にも届いていません。

石原：確認します。

神宮司：次回のパンフレット作成のスケジュールについては、次回の会議で相談します。

3) 規律部（◎豊島学院・京華）

北爪：今期は一発退場などもなく、問題なく行えた。

3. 企画部門（丸山企画部長）

1) 地域活動推進部

（文京区：◎昭和一・駒込・竹早／豊島区：◎立教池袋・FC 西巣鴨 03／足立区：都足立）

<文京区>（資料参照）

永井：「B ヴィレッジ」の取材を行ってきた。取材した時は、丸山先生が指導されていた。人数が少なかったが、普段はもっと来ているようだ。ボールが顔に当たってお母さんのところに直行する小学生の子どもたちなど、普段高校生を指導している自分にとっては新鮮だった。今後も毎月 2 回行われるようだ。

宮坂：駒込のキャプテン中心に、自分たちで近所のパン屋を取材してきたので本人から報告します。

須貝：自分たち駒込サッカー部がよく行く PAL というパン屋を取材してきました。取材の意図を説明したところ、快く取材に応じてくれたため、このような活動ができました。

宮坂：地元の駒込高校の教員は知らなかったが、地元ではかなり人気なお店のようです。

<豊島区>（資料参照）

岸：我々 FC 西巣鴨 03 の母体として西巣鴨中学校地域スポーツクラブという総合型地域スポーツクラ

ブが今年で設立8年目になる。今は、幼児から社会人までが校庭でフットサルをやっている。うちのクラブの特徴である、スポーツクラブで部活を支えているということで、東京都スポーツ功労賞もいただいた。そのクラブで毎年フェスティバルを行っている。今回は、2月13日（土）にDUOリーガーにもお願いしてフットサル大会を行いたいと考えている。普段ボールを蹴ることが少ない女子マネージャーにもぜひ参加して欲しいと思っている。詳細は、メーリングリストで改めてお知らせしますのでご協力ください。

中塚：個人参加は可能ですか。

岸：全然問題ないです。時間があれば、DUOのリーグごとにチームを作って交流戦ができたらしも思います。

丸山：午前中だけ、午後だけの参加は可能ですか。

岸：一緒に遊べればいいので、都合に合わせて来ていただければと思います。

丸山：スキンプロジェクトとの連携も考えていただければ。

岸：寒い時期なので、木工室でできないかなど検討してみます。

<足立区>（資料なし）

安藤：今のところ活動は全くできていませんが、先日金町のフットサルコートで京華卒の唐沢君に会いました。これから何か企画していきたいと思います。

2) 医科学活動推進部（◎江北・養和・本郷）

藤原：2月10日にテーピング講習会を開催します。メールもしくは電話にて1月29日までに私までお申し込みください。内容としては、2人組で足関節のテーピングの体験などを予定しています。

50名を越えた場合は調整してみますので、できるだけ多くの生徒の参加をお待ちしています。

（資料参照）

3) スキンプロジェクト（理事会）

中塚：靴磨き講習会やコインケースづくりなどをこれからも続けていく。ぜひご参加ください。

Ⅲ. チェアマンより（中塚）

1. 試合記録の集約・集計とホームページの活用について（資料参照）

中塚：補足資料には、メーリングリストで流れていない部分で、どのような話が出ていたかを載せている。Eリーグ、地区トップリーグのホームページの運営をされている松本秀一さん（リバーサイドリーグ）方から、痺れを切らして送られてきたメールが補足資料1。補足資料2は、高体連新人戦との絡みでリーグ戦とカップ戦の考え方について整理して送ったもの。補足資料3は、インフルエンザ対応についてメーリングリストでお伝えした結論に至った経緯。

補足資料4が、ここで話したいところ。今年の夏ごろに、関西の本多さんにホームページをリニューアルしてもらった。私が主催する「サロン2002」の重鎮で、ビジネスとしてフットサル大会の運営や情報発信を行っている方。更新作業がどの程度の仕事量になるのか、本多さん自身が一度体験しておきたいということもあり、後期リーグの更新作業はすべて本多さんにやってもらっていた。半期やってみて、更新作業そのものはそれほど時間のかかる作業ではないが、どのタイミングで更新するかで滞った感があるかもしれない。メーリングリストの不達問題以外では、みなさんから意見が出ていなかったということで、問題はないと考えていたとのこと。「思っているけど言わない」という傾向があるが、より良い方法を選択するためにもぜひ意見や感想を出してもらいたい。

試合結果の更新については、来シーズンから、直接ホームページに入力して更新するシステムができないかと模索している。得点ランキングについては、通信に載ったものをアップできないかと考

えている。要望や質問などあれば、どんどん出してもらいたい。

2. 事務局について

中塚：昨年度事務局長をお願いしていた田村紗雪さんから先日、お詫びのメールが届いた。大学生としての生活とうまく両立できないとのこと。ちょうどその前後に、釧路に行っていた岸君が「DUOリーグのために?!」戻ってきてくれた。改めて事務局長をお願いしたい。

岸：小石川高校を卒業後、中央大学に進学し、その後、公文式に務め釧路に行っていましたが、大学院で再びスポーツ社会学の研究をしたく、10月末に会社を辞め、東京に戻って参りました。研究分野としても、高校生年代のスポーツにはとても興味がありますので、再び事務局として活動させていただければと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

IV. 今後へ向けて

1. DUOリーグ入退会クラブ：なし

2. 今後の日程（確認）

1) Eリーグ参入戦：DUO 1部リーグ2位チームとリバーサイドリーグ2位チームで相談

2) 2部チャンピオンシップ・順位決定戦

玉生：同じ日に3つ巴の40分ゲームを行い、順位を決定したこともあったが、今回は時間があるので、前後半のゲームをしましょう。

遠藤：2部優勝チームは1部リーグに自動昇格できるシステムはつくれないだろうか。

玉生：チャンピオンシップには、入れ替え戦以外にも、順位決定戦という意味合いがある。

遠藤：2部のチーム割りはどのように行っているのか。

玉生：私が前回、順位、グラウンドの有無等から考えている。

遠藤：順位決定戦についてはレギュレーションをしっかりと決めた方がいいのではないだろうか。

中塚：前期と後期の間は時間がなく、1日にまとめて行っていた。しっかりしたレギュレーションをつくとそれに縛られ、かえってやりにくくなる面もあるだろう。

玉生：順位決定戦のやり方については、2部リーグ優勝の3チームでその都度決めてもいいのではないか。審判も当事者で決めて、運営していただければと思う。

中塚：審判については審判部とも絡んでもらえればいい。

遠藤：今回の順位決定戦のやり方について、2部リーグ優勝の3チームで相談する。

中塚：相談した内容を事業部長に伝え、メーリングリストに流してほしい。「サッカーで決める」ということだけはお願いします。

3) 基礎調査兼加盟票

次回DUO会議までに提出。フォーマットについては、後日メーリングリストで発信。

4) リーグ編成・日程表作

次回DUO会議で相談

5) プログラム原稿

2010年度前期開幕戦の約2週間前までに原稿を集めれば、開幕戦に間に合う。原稿提出の詳細については、次回のDUO会議でお知らせ。

- 6) 2009 年度前期開幕戦：4月3日
- 7) 審判講習会：3月14日 筑波大附属高校にて
- 8) DUOリーグ・アウォーズ&DUO会議：2月21日 筑波大附属高校にて

3. 高校生オブザーバーより

- ・DUO 会議に参加するのは2回目ということもあり、運営についてより理解できた。個人的には来期は1部で優勝したい。キャプテンとしてチームをまとめていきたい。
- ・昇降格の問題が単純にチーム数で決められないことが印象的だった。多くの方に関わっていただいていることに感謝しました。
- ・地域のお店レポートも聞けておもしろかったです。地域での交流も行っていることを知り、リーグの大きさを実感しました。
- ・チャンピオンシップに向けて集中してサッカーしていきたいです。それも多くの方々のお陰であることを感じました。
- ・他の部員にも今回のことを伝え、みんなで感謝しながら参加していきたいです。
- ・いろいろなことを知れて良かったです。これからもマネージャーとしてがんばっていきたいです。
- ・ありがたい気持ちでいっぱいになりました。これからも機会があれば参加したいです。

議事録作成：岸卓巨
内容確認・編集：中塚義実

*****当日の配布資料より*****

補足資料1. Eリーグの状況について（松本秀一氏のメールより）

2009.12.14. Eリーグ集計結果

Eリーグ運営委員各位

Eリーグチーム代表者各位

お世話になります。江戸川の松本です

DUOリーグ通信や足立高校の安藤コーチから送っていただいた結果を元に私が把握しています集計結果をお送りします。この結果以外にも試合が終了している場合、試合結果報告書を足立高校まで早急にお送りください

2009 年度後期リーグは、今年いっぱいまでで消化することとなっていますので、雨天等で延期となってしまうゲームがある場合は、調整を宜しくお願いします。

私は、地区トップリーグの運営委員もさせていただいていますが、順位の如何を問わず、未消化ゲームがあるチームを次年度の地区トップリーグへの昇格チームとして推薦することができなくなってしまいますので、ご注意ください。

尚、Eリーグの試合結果をDUOリーグのメーリングリストにお送りいただいても全てのEリーグ運営委員・参加チームには送信されませんので、試合結果は、必ず足立高校にFAXをお送りいただきますようお願いいたします。

◆安藤コーチ

送られてきました試合結果報告を元に以下の内容・添付資料を運営委員・参加チーム代表者にメールで配信してください

記載内容：日時・会場・主審・副審1・副審2・対戦カード・スコア（前半・後半・合計）・得点者・警告退場

添付書類：順位表・星取表・得点リスト・警告退場リスト

配信先リスト（個人情報が含まれるため省略）

補足資料 2. リーグ戦とカップ戦の考え方について (中塚からのメールより)

2009.10.6. (中塚義実)

岩野殿 (新人戦担当)、小金丸殿 (第2地区責任者)、江口殿 (第2地区庶務)、玉生殿 (DUO事業部長)
(前略)

◆新人戦の形式についてですが、以前から終始一貫して言っているとおり、私の意見は「高体連はノックアウト方式で」です。第2地区が去年まで採用していた方式は、たまたま勝ち上がったチームにとっては強化につながるかもしれませんが、地区全体の底上げにとっても、生活文化としてのスポーツの定着にも、高体連の競技会のあるべき姿からも「？」と言わざるを得ません。リーグ戦の先進地域であるDUO&第2地区がこのような選択をしてしまったのは残念でしたが、そろそろ本来の姿へ戻すべきだと考えます。

高体連の競技会をノックアウト方式のカップ戦とすることで、取り組みが整理されます。カップ戦を尊重しつつリーグ戦をしっかり行うこと (行える環境を作ること) が大切です。と同時に、ただ単に試合を行うだけでなく、選抜の交流会や合同練習会、さまざまな研修会など、リーグや地区が単位となって積極的に行っていくべきでしょう (担い手は高体連かリーグか、それとも協会かという問題はありますが、いずれも同じような人になるかもしれませんが、それぞれの使命を自覚することが大切です)。

◆DUOの最終日を12月23日のままとするか12月31日まで延ばすかについては、10月10日に皆さんの意見を聞いた上で、玉生事業部長が判断してください。インフルエンザという「特別な事情」でもあるので12月31日もやむなしと思います。

ただしDUO会議は12月23日です。アウォーズは2月です。以上

補足資料 3. インフルエンザ対応について (中塚からのメールより)

2009.10.1. (中塚義実)

玉生様 (事業部長)、神宮司様 (管理部長)、丸山様 (企画部長)

江口様 (1部リーグ)、山中様 (2部Dリーグ)、宮坂様 (2部Uリーグ)、玉山様 (2部Oリーグ)

9月26日付で送信したメールについて、どこからも意見が出てこないのも、このメールを受信されている方々で方針を決めたいと思います。

大きく分けて2つの方法があるのは9/26にお伝えした通りですが、「折衷案」でどうでしょうか。

以下のとおりです。

「インフルエンザで延期になったゲームについては、できるだけマッチメイクをして試合を行うよう努力する。ただし、最終日までに実施できなかった場合、ノーゲームではなく、責のあったチームの不戦敗。スコアは3-0とする」

つまり、片方の一方的な事情による不戦敗 (5-0) よりも軽く、両者やむを得ぬ事情での延期試合 (改めてマッチメイク。試合ができなかったらノーゲーム) よりも重いという判断です。

また、リーグ戦最終試合日は12月23日としていますが、これを12月31日まで伸ばすことも不可能ではありません。いかがでしょうか。

10/4 (日) にはDUO通信にて連絡しますので、できれば明日中、遅くとも10/3中に返信ください (電話でもかまいません)。

該当する試合は以下でよろしいでしょうか。ご確認ください。

1部リーグ … 9/27 (本郷θ) vs筑波大附、9/27 (都豊島) vs豊島学院A

2部Dリーグ … 9/23 (豊南) vs豊島学院C、9/26 (豊南) vs都江北B

2部Uリーグ … 9/27 (都豊島B) vsFC西巢鴨03

*****参考：9/26メールより*****

◆今後の対応について

玉生事業部長からの「インフルエンザについて」は、各クラブの状況を把握した上で対応を練るための依頼ですが、各クラブが「インフルエンザによる延期試合」をどの程度抱えているのかも把握したいところです。あわせてご報告ください（どちらに起因するのかも）。

「仕方がない」のはわかりますが、だから「自動的に延期」とすると、あとで大変なことになってしまいます。特に、対戦相手の事情で試合消化できないチームが困ります。

来週中には何らかの結論を出したいと思いますが、その際、大きく分けて次の2つからの選択になるかと思います。

1) インフルエンザによる活動停止というやむを得ない事情とはいえ、一方のチームの責によって試合が成立しなかったのだから、不戦敗（スコアは0-5ではなく0-3が妥当か）。マッチメイクはしない補足）学校行事が中止になることもあるのだからやむを得ない。また、対戦相手の事情で試合延期になったチームにとっては、改めて日程調整するのも難しいし、そこで差が生じるのも不公平。しかし、部員がかかっているわけでもないのに、学校閉鎖で試合ができないのを不戦敗にされるのも気の毒か…。

2) インフルエンザによる活動停止という「特別な事情」を考慮に入れ、当該チームの了解の上で改めてマッチメイクし、何とか消化させる。

補足）プレイヤーズ・ファーストの観点からは、できるだけゲームを成立させたいところ。問題は、本当にマッチメイクできるのかということ。あるところはできたけど別のところはできなかった場合、あるいは複数試合残ってしまっって優先順位をつける場合、そして結局残ってしまった場合など、さまざまなケースが考えられる。

なお、後期リーグの最終日は12月23日としていますが、12月末まで延長することは不可能ではありません。ただし昨年度のようにずるずると1月まで引きずるのは、「リーグ期間がシーズン」という観点からも、受け入れられません。

以上を踏まえてご意見をいただければと思います。また、各クラブの情報は速やかにお願いします。来週中に、事業部長・管理部長・企画部長および各リーグ責任者とチェアマンで結論を出します。